

平成27年度 着手
令和 7年度 (変更第1回)

しんてんぱく
県営 新天白地区 土地改良事業計画書
(た ん 水 防 除 事 業)

愛 知 県

目 次

<p>第 1 章 目 的 1</p> <p>第 2 章 地域及び地積 1</p> <p> 第 1 節 地 域 1</p> <p> 第 2 節 地 積 1</p> <p>第 3 章 現 況 2</p> <p> 第 1 節 気象及び海象 2</p> <p> 1 一般気象 2</p> <p> 2 特殊気象 3</p> <p> 3 海 象 3</p> <p> 第 2 節 土地状況 4</p> <p> 1 地形、土壌及び浸食の程度 4</p> <p> 2 土地分類 5</p> <p> 3 土地利用の状況 5</p> <p> 4 土地所有の状況 6</p> <p> 第 3 節 水利状況 7</p> <p> 1 用水状況 7</p> <p> 2 排水状況 7</p> <p> 3 河川状況 11</p> <p> 第 4 節 道路概況 11</p> <p> 1 道路概況 11</p> <p> 2 主要道路一覧表 11</p> <p> 第 5 節 地域農業の概況 12</p> <p> 1 産業別就業人口 12</p> <p> 2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数 12</p> <p> 3 動力農機具及び主要家畜頭数 13</p> <p> 4 主要作物作付状況 14</p> <p> 5 農業の動向 15</p> <p> 第 6 節 地域環境の概況 16</p>	<p>第 4 章 一 般 計 画 16</p> <p> 第 1 節 事業計画の要旨 16</p> <p> 1 要 旨 16</p> <p> 2 事業別面積 16</p> <p> 第 2 節 営農計画及び土地利用計画 17</p> <p> 1 営農計画の概要 17</p> <p> 2 土地利用区分 17</p> <p> 3 作付け方式 17</p> <p> 4 生産計画 17</p> <p> 5 労働改善計画 17</p> <p> 6 級地別土地利用区分 17</p> <p> 7 土地配分計画 17</p> <p> 第 3 節 用 水 計 画 17</p> <p> 1 計画基準年 17</p> <p> 2 計画かんがい方式 17</p> <p> 3 計画用水系統 17</p> <p> 4 計画用水量 18</p> <p> 5 水源計画 18</p> <p> 第 4 節 排 水 計 画 18</p> <p> 1 計画基準雨量 18</p> <p> 2 計画排水方式 18</p> <p> 3 計画排水系統 18</p> <p> 4 計画排水量 18</p> <p> 5 排水対策 20</p> <p> 6 湛水検討 21</p> <p> 第 5 節 道 路 計 画 21</p> <p> 1 道路及び索道 21</p> <p> 2 路線配置図 21</p>
---	---

第6節	農用地造成計画	21	3	排水路	24
1	農用地造成計画	21	4	その他排水施設	24
2	土壌改良	21	第3節	道路及び索道	24
第7節	洪水調整計画	21	1	道路	24
1	計画基準雨量	21	2	索道	24
2	計画洪水量及び調整量	21	第4節	農用地造成	25
3	貯水池	21	1	農用地造成	25
4	洪水調整検討	22	2	土壌改良	25
5	管理計画	22	第5節	洪水調整施設	25
第8節	干拓計画	22	1	貯水池	25
第9節	農用地整備計画	22	2	頭首工及び導水路	25
1	区画整理	22	第6節	干拓施設	25
2	暗渠排水	22	1	堤防	25
3	客土	22	2	潮止め	25
4	農地保全	22	3	付属施設	25
第10節	老朽ため池改修計画	23	4	埋立	25
1	洪水吐改修計画	23	第7節	農用地整備施設	26
2	堤体補強計画	23	1	区画整理	26
3	取水施設改修計画	23	2	暗渠排水	26
第5章	主要工事計画	23	3	客土	26
第1節	用水施設	23	4	除礫	26
1	貯水池	23	5	農地保全	26
2	頭首工	23	第8節	老朽ため池改修施設	26
3	揚水機	23	1	貯水池	26
4	用水路	23	2	堤体補強施設	26
5	その他かんがい施設	23	第6章	附帯工事計画	26
第2節	排水施設	23	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	27
1	排水水門	23	第8章	環境との調和への配慮	27
2	排水機	24			

第 9 章	換地計画の概要	27
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	27
第 2 節	換地区の設定	27
1	換地区の名称、所在、面積	27
2	換地区を設定する理由	27
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	28
1	従前の土地の地積の基準	28
2	用途別予定地積	28
3	農用地集団化の方針	28
4	非農用地の換地方法	28
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	28
1	評価の方法	28
2	清算の方法	28
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	28
第 6 節	換地処分の特則	28
第 10 章	事業費の総額及び内訳	28
第 11 章	効 用	29
第 12 章	関 連 す る 事 業	30
第 13 章	現況・計画平面図	30
1	現況平面図	30
2	計画平面図及び土地利用計画図	30
3	主要構造図	30

第 1 章 目 的

本地区は愛知県の南部に位置し、田原市に属している。北側は三河湾、西側は天白川および県道423号線、東側は国道259号（田原街道）に挟まれた低平地であり、流域面積は313.2haである。排水系統は、地区内に設置された前田排水路より、渥美第2排水機場・小新田排水機場・天白排水機場および菱池排水樋門・小新田排水樋門を経て天白川に排水している。

農地は、畑主体の農業が営まれており、大都市近郊という立地条件を生かして、キャベツ・メロン・電照菊等が盛んである。

本地区は地区内開発に伴う地目変化により、流出量が増加傾向にある。また、昭和43年～昭和63年に建設された排水機場は、設置から26年～46年が経過していることから、老朽化に伴う排水能力の低下が見られる。このため、湛水被害が度々発生している状況にある。更に、既存の排水機場は、大規模な地震が発生した場合、施設の損傷に伴う排水機能の低下、喪失による湛水被害が懸念されるため、農地・農作物・農業施設・一般施設等に多大な被害を及ぼす恐れがある。

このような自然的、社会的要因で生じた農地及び農業用施設の機能低下の回復や災害を防止するため、耐震性の向上を踏まえた排水施設の更新整備を行うことにより、地区内の湛水被害を防止し、農村地域の防災力向上を図る。

第 2 章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
たん水防除	田原市 中山町

第2節 地 積

((平成 26 年 10 月現在))

(令和 6 年 10 月現在) (第2表)

事 業 名	市町村名	現況地目					計 (ha)	備 考
		田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)		
たん水防除	田原市	14.2	12.2	—	—	4.6	31.0	1/2,500地形図より計測
	計	14.2	12.2	—	—	4.6	31.0	
合 計		14.2	12.2	—	—	4.6	31.0	

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1 一般気象

(第 3 表-1)

観測所名	伊 良 湖 観 測 所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	(平成25年) 平成4年～令和5年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		(23.2) 22.2	10.5	(15.7) 16.4	
降 水 量	平均 (mm)	(940) 998	(707) 645	(1,647) 1,642	
	基 準 年 (mm)	-	-	-	
降 水 日 数	平均 (日)	(55) 58	(56) 42	(111) 100	
	基 準 年 (日)	-	-	-	
根 雪 期 間		- 月 - 日 ~ - 月 - 日 - 日間			
無 霜 期 間		3 月 ⁽²⁹⁾ ₂₂ 日 ~ 11 月 ⁽²³⁾ ₂₉ 日 ⁽²⁴⁰⁾ ₂₅₃ 日間			名古屋地方气象台
最 多 風 向		(NNW) NW	最大風速 (風 向)	45.4 m/s (S)	最多風向発生時期 ⁽¹¹⁾ ₂ 月 ~ ⁽³⁾ ₄ 月 最大風速発生年月日 昭和34年 9月 26日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
伊良湖観測所																
観測期間 (平成25年) 明治24年～令和5年																
最大日雨量 (mm)	(337) 444	(S37.7.2) R5.6.2	(1/250) 1/398	(286) 337	(S57.8.3) S37.7.2	(1/140) 1/77	(239) 295	(S46.8.30) R1.10.12	(1/110) 1/38	(236) 286	(S37.7.27) S57.8.3	(1/90) 1/33	(233) 239	(H13.9.10) S46.8.30	(1/5) 1/15	
最大時間雨量 (mm)	82	S37.7.2	(-) 1/67	(78) 81	(H15.8.7) R4.8.30	(-) 1/58	(77) 78	(S31.9.25) H15.8.7	(-) 1/41	(69) 77	(H8.8.20) S31.9.25	(-) 1/38	(67) 69	(H2.9.14) H8.8.20	(-) 1/16	
最大4時間雨量 (mm)	(-) 174	- S37.7.2	(-) 1/49	(-) 158	(-) R5.6.2	(-) 1/27	(-) 154	(-) S57.8.18	(-) 1/24	(-) 151	(-) S30.8.27	(-) 1/22	(-) 147	(-) S55.10.14	(-) 1/19	
最大連続雨量 (mm)	(446) 494	(S37.6.30 S37.6.24 ~7.6 ~7.10)	(-) 1/68	(338) 479	(H16.10.7 R5.5.29 ~10.10 ~6.3)	(-) 1/54	(335) 446	(S36.6.22 H29.10.13 ~6.29 ~10.25)	(-) 1/32	(318) 445	(H2.9.13 S57.7.31 ~9.20 ~8.3)	(-) 1/32	(260) 423	(S63.9.22 R6.8.25 ~9.28 ~9.5)	(-) 1/23	
最大連続干天日数 (日)	(40) 29	(S48.11.11 S48.11.22 ~12.20)	(-) 1/186	(38) 22	(H7.7.23 H7.7.24 ~8.29 ~8.14)	(-) 1/31	(37) 21	(S63.11.25 H.11.12.16 ~12.31 ~H12.1.15)	(-) 1/24	(37) 21	(H9.10.7 S60.7.15 ~11.12 ~8.4)	(-) 1/24	(37) 20	(H10.12.9 R6.7.26 ~H11.1.14 ~8.14)	(-) 1/18	第5位と同一 S58.7.26~8.14 S44.12.27~ S45.1.17

3 海象

(第3表-3)

観測所名	福江観測所	既往最高潮位 (m)	さく望平均満潮位 (m)	上下弦平均満潮位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均干潮位 (m)	さく望平均干潮位 (m)	既往最低潮位 (m)	備考
観測期間	(平成25年) 大正7年～令和4年								
実測値		(1.96) 2.68 (+)((平成2年)) (昭和43年)	(0.93) 0.95	(0.27) 0.31	(0.07) 0.09	(0.03) 0.01	(0.98) 0.81	(1.65) 2.28 (-)((平成2年)) (昭和43年)	

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考		
		傾斜区分	1/1000以下	1/1000~1/100	1/100~1/20	1/20~1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°~8°	8°~15°			15°~20°	20°以上	計		最高	最低
											8°~10°	10°~15°	小計						
たん水防除	面積(ha)	14.2	-	-	-	-	14.2	16.8	-	-	-	-	-	-	16.8	0.80	-0.40		
	比率(%)	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0				
	面積(ha)																		
	比率(%)																		
合計	面積(ha)	14.2	-	-	-	-	14.2	16.8	-	-	-	-	-	-	16.8	0.80	-0.40		
	比率(%)	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0				

(第4表-1-2)

土壌統(区)名	項目	土壌統(区)区分一覧表										面積(ha)			備考
		土壌断面										事業名			
		色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 及び グライ層	堆積様式	母材	たん水防除	-	計	
						表土	下層土								
一層	二層					三層									
西小椏統	青灰色	なし	なし	糸根膜、管状なし~富	砂質	砂質	-	作土直下からグライ層	水積	非固結水成岩	14.2	-	14.2	水田	
寺津統	青灰色	なし	なし	糸根、膜状なし~含	壤質	壤質	-	作土直下からグライ層	水積	非固結水成岩					
大草統	灰色	なし	30~60cm以下砂礫層	糸根、層状有~富	壤質	礫質	-	なし	水積	非固結水成岩					
西尾統	黄褐色	なし	なし	なし	壤質~粘質	粘質~強粘質	-	-	洪積	非固結水成岩	16.8	-	16.8	畑・その他	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31.0	-	31.0		

2 土地分類 該当なし

3 土地利用の状況

((平成 26 年 8 月現在))

(令和 6 年 8 月現在)

(第 4 表- 3)

事業名	土地利用別	耕 地						山 林		採草放牧地	その他	計	備考
		水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	樹園地 その他の	用材林	薪炭林				
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)			
たん水防除	田原市	14.2	12.2	-	-	-	-	-	-	-	4.6	31.0	
	計	14.2	12.2	-	-	-	-	-	-	-	4.6	31.0	
	合計	14.2	12.2	-	-	-	-	-	-	-	4.6	31.0	

4 土地所有の状況

((平成 26年 8 月現在))

(令和 6年 8 月現在)

(第4表-4)

事業名	区分	所有別			計	備考	
		個人有地等	国 有 地	県 有 地			市 有 地
たん水防除	面 積 (ha)	26.4		4.6		31.0	
	受 益 者 数 (人)	172	-	-	-	172	
	筆 数 (筆)	-	-	-	-	-	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	
	備 考 (関係戸数)	(172)				(172)	
合 計	面 積 (ha)	26.4		4.6		31.0	
	受 益 者 数 (人)	172	-	-	-	172	
	筆 数 (筆)	-	-	-	-	-	
	権 利 関 係	-	-	-	-	-	
	備 考 (関係戸数)	(172)				(172)	

第3節 水利状況

1 用水状況

本地区は、豊川用水 伊良湖支線、向山支線により導水しかんがいが行われている。

- | | |
|---------------------|------|
| (1) 用水系統 | 該当なし |
| (2) 用水施設 | 該当なし |
| (3) 用水に関する被害状況 | 該当なし |
| (4) ため池決壊の場合の想定被害状況 | 該当なし |

2 排水状況

排水は、地区中央部を流れる前田排水路により流下し、渥美第2排水機場、小新田排水機場、天白排水機場および菱池排水樋門・小新田排水樋門を経て天白川に排水されている。

- | | |
|----------|---------------|
| (1) 排水系統 | 別紙 現況排水系統図 参照 |
|----------|---------------|

新天白地区 現況排水系統図



三河湾

小新田排水機場
チューブラφ800×M45kw×1台
Q=0.82 m³/s

小新田排水樋門
RC造
B2.4m×H2.0m×2門
B1.0m×H2.0m×1門

釜池排水樋門
RC造
B2.6m×H2.3m×1門

天白排水機場
横軸軸流φ1650×E250ps×1台
Q=4.45 m³/s

瀬美第2排水機場
横軸軸流φ1100×E115ps×1台
Q=1.69 m³/s

県道421号線

前田排水路

二級河川 天白川

県道420号線 (田原街道)

県道423号線

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考
			ha 以上		～ ha		ha 未満		箇所	ha			
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
たん水防除	自然	排水路	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	1	313.2	-	-	-	-	1	313.2	-	6.96	
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計		1	313.2	-	-	-	-	1	313.2	-	6.96	
合計		1	313.2	-	-	-	-	1	313.2	-	6.96		

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
たん水防除	自然	排水路	-	-	-	-	-	-	-
		水門	-	-	-	-	-	-	-
	機械	排水機	渥美第2排水機場	31.0	横軸軸流	φ 1,100×1台 Q=1.69m ³ /s	昭和43年	耐用年数経過による能力低下	
			小新田排水機場	31.0	チューブラ	φ 800×1台 Q=0.82m ³ /s	昭和54年	〃	
			天白排水機場	31.0	横軸軸流	φ 1,650×1台 Q=4.45m ³ /s	昭和63年	〃	
	水門	菱池排水樋門	31.0	RC構造	B2.6m×H2.3m	昭和36年	老朽化及び基礎形式が現行河川基準に合致しないため		
		小新田排水樋門	31.0	〃	B2.4m×H2.0m×2 B1.0m×H2.0m	昭和54年	〃		
		計	31.0	-	-	-	-		
合計		31.0	-	-	-	-			

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目		湛水状況						乾湿状況 (ha)						平均減産量(t)		備考
	施設名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
			平均	基準年					乾	湿	乾	湿	乾	湿			
た	渥美第2排水機場、 小新田排水機場、 天白排水機場	313.2	平均	-	-	-	-	-	14.2	-	12.2	-	4.6	-	水稻 レタス キャベツ メロン他	462	1/20確率
			基準年	317.6	127	28	31.0	241									
ん			平均														
			基準年														
水			平均														
			基準年														
防			平均														
			基準年														
除			平均														
			基準年														
合計		313.2	平均												水稻 レタス キャベツ メロン他	462	1/20確率
			基準年	317.6	127	28	31.0	241	14.2	-	12.2	-	4.6	-			

3 河川状況

(1) 河川状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考
天白川水系 二級河川 天白川	-	1/2000	計画断面にて 改修中	65	-	

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 河川名	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額	-	-	-	-	(資料なし)
平均被害額	-	-	-	-	

第4節 道路概況

1 道路概況

西側は県道423号線、東側は国道259号（田原街道）に挟まれ中央部を県道421号線が横過している。いずれの県道も渥美半島を縦貫する国道259号に通じ交通の便は良い。

2 主要道路一覧表

(第6表)

NO.	路線名	管理区分	延長 (m)	幅員 (m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
	県道421号線	県道	-	12	8	片側1車線	否	

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運 輸 通信業	卸 売 小売業 飲食店	金 融 保険業	教育・学習支 援業	医療・ 福祉	公 務	その他	備 考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
田原市	(65,433) 35,307	(10,420) 10,125	(4) 6	(511) 413	(8) 2	(1,890) 1,736	(8,160) 7,473	(86) 95	(1,464) 1,609	(3,952) 5,317	(381) 336	(1,017) 1,014	(2,166) 2,849	(702) 703	(34,672) 3,629	
計	(65,433) 35,307	(10,420) 10,125	(4) 6	(511) 413	(8) 2	(1,890) 1,736	(8,160) 7,473	(86) 95	(1,464) 1,609	(3,952) 5,317	(381) 336	(1,017) 1,014	(2,166) 2,849	(702) 703	(34,672) 3,629	
比率 (%)	100.0	(15.9) 28.6	(0.0) 0.0	(0.8) 1.2	(0.0) 0.0	(2.9) 4.9	(12.5) 21.1	(0.1) 0.3	(2.2) 4.6	(6.0) 15.1	(0.6) 1.0	(1.6) 2.9	(3.3) 8.1	(1.1) 2.0	(53.0) 10.2	

((出典：平成27年国勢調査))
(出典：令和2年国勢調査)

2 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農業 経営 体数 (経営体)	経営耕地面積規模別経営体数 (経営体)											1経営体当たり平均農用地面積 (ha)					耕 地 の 分散状況		専兼業別 農家数(戸)			備 考		
		0.3 ha 未満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 ha 以上	自 給 的 農 家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一 戸 当 た り 団 地 数 (戸)	団 地 当 た り 面 積 (ha)	専 業	兼 業		第一種	第二種
田原市	(3,779) 2,987	(209) 498	(389) 350	(1,285) 764	(766) 432	(349) 251	(385) 274	(295) 285	(80) 104	(20) 24	(1) 5	(0) -	(0.5) 0.6	(1.2) 1.4	(0.4) 0.8	(2.1) 2.8	(0.0) 1.5	(2.1) 4.3	- -	- -	(1,659) 2,025	(1,079) 143	(981) 724		
計	(3,779) 2,987	(209) 498	(389) 350	(1,285) 764	(766) 432	(349) 251	(385) 274	(295) 285	(80) 104	(20) 24	(1) 5	- -	(0.5) 0.6	(1.2) 1.4	(0.4) 0.8	(2.1) 2.8	(0.0) 1.5	(2.1) 4.3	- -	- -	(1,659) 2,025	(1,079) 143	(981) 724		
比率 (%)	100	(5.5) 16.7	(10.3) 11.7	(34.0) 25.5	(20.3) 14.5	(9.2) 8.4	(10.2) 9.2	(7.8) 9.5	(2.1) 3.5	(0.5) 0.8	(0.0) 0.2	(0.0) -	(23.8) 13.9	(57.1) 32.5	(19.0) 18.6	(100.0) 65.0	(0.0) 35.0	100	- -	- -	(44.6) 70.0	(29.0) 5.0	(26.4) 25.0		

((出典：2010年農林業センサス))
(出典：2020年農林業センサス)

3 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	トラクター		動力防除機		動力田植機		自脱型コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (台)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
田原市	(2,897)	(3,728)	-	-	(712)	(2,123)	(113)	(428)	(-)	(-)	(19,600)	(76)	(124,200)	(60)	
	-	-	-	-	-	-	-	-	11,642	49	11,571	73	45,397	24	
計	(2,897)	(3,728)	-	-	(712)	(2,123)	(113)	(428)	(-)	(-)	(19,600)	(76)	(124,200)	(60)	
	-	-	-	-	-	-	-	-	11,642	49	11,571	73	45,397	24	
100戸(経営体) 当り数量 (台, 頭)	(78)		-		(34)		(26)		(-)		(25,789)		(163,421)		
	-		-		-		-		23,759		15,851		189,154		
利用経営体数割合 (%)	(93.8)		-		(53.4)		(10.8)		(-)		(2.0)		(2.0)		
	-		-		-		-		1.6		2.4		0.8		

((出典：2010年農林業センサス))

(出典：2020年農林業センサス)